令和７年度【2025年度】

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1259
施設名	立石いろは保育園
施設所在地	葛飾区立石2-31-17
法人名	社会福祉法人アストリー

１．活動のテーマ

＜テーマ＞

絵本

＜テーマの設定理由＞

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

・日常の保育で親しみやすいため「絵本」をテーマとして設定した。

・季節や発達段階に沿った「絵本」一人一冊届き、身近なテーマから日常とは違う世界まで様々な内容の内容の絵本を楽しむことで、身の回りの世界を深く味わう力や未知の物への興味関心が育まれていくと感じた為。

２．活動スケジュール

定期的活動

・毎月、一人一冊絵本が届く。

・数日に一回届いた絵本を全体で読み興味関心を広げる。

・誕生日にはその子の絵本で読み聞かせをする。

・子どもの関心や興味の声を拾い保育活動を展開していく（※不定期）

３．活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

・ハサミ　・LaQ
・のり　　・絵本「さかなのおそうじやさん」
・クレヨン
・色鉛筆

4．探究活動の実践

＜活動の内容＞

すくわくの絵本の印象に残ったワンシーンを工作の技法で表現した児がいたため
友だちの前で保育者と一緒に制作物を使って読み聞かせをしてもらった。鮮やかな色を使って描き
豪快に大きな口を開けた魚を立体的に表現した制作物によって、何度も読んだ絵本が新鮮な印象となり、また皆で楽しむ事ができた。また、この制作物をきっかけに自由制作を楽しむ児が増え、またLaQを使い様々な海の生き物のLaQ作りに広がり「だいち組　すいぞくかん」に展開していった。
主人公であるホンソメワケベラを気に入り自分の絵本を開いてホンソメワケベラに独自の台詞を持たせる子もいた。

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）
LaQですくわく絵本に登場するホンソメワケベラや海の生き物の何を作るか話し合いながら楽しむ姿があった。設計図はないものもあり、自分の頭で思い浮かべたものを形にしていた。写真の配置にもこだわっていて、マグロの口の掃除をしているというストーリーがある。絵本を持って帰れることを楽しみにしていて、母に読ませてあげたいと言う児もいた。

5．振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

展開をみせない時期が続いたすくわくの絵本の活動だったが、一人の児の制作物をきっかけに
絵本の楽しみ方を見出す児が増えたことを嬉しく思った。子どもたちの声を拾う大切さを改めて
感じた。

令和７年度【2025年度】

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1259
施設名	立石いろは保育園
施設所在地	葛飾区立石2-31-17
法人名	社会福祉法人アストリー

１．活動のテーマ

＜テーマ＞

絵本

＜テーマの設定理由＞

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

・日常の保育で親しみやすいため「絵本」をテーマとして設定した。

・季節や発達段階に沿った「絵本」一人一冊届き、身近なテーマから日常とは違う世界まで様々な内容の内容の絵本を楽しむことで、身の回りの世界を深く味わう力や未知の物への興味関心が育まれていくと感じた為。

２．活動スケジュール

定期的活動

・毎月、一人一冊絵本が届く。

・数日に一回届いた絵本を全体で読み興味関心を広げる。

・誕生日にはその子の絵本で読み聞かせをする。

・子どもの関心や興味の声を拾い保育活動を展開していく（※不定期）

３．活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）
・ハサミ　・絵本「ゴリラばあちゃん」
・のり
・クレヨン
・色鉛筆

4．探究活動の実践

<活動の内容>

・絵本の「ゴリラばあちゃん」に興味関心を持つ子が多かった為、制作の題材にした。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）
・目玉の色や口の形、シワの数などそれぞれ個性的に表現する姿が見られ、制作しながら
笑い合い楽しんで取り組むことができた。

5．振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・絵本の題材の「ゴリラばあちゃん」の興味関心を持った内容を題材にすることで
意欲的に制作活動に取り組む姿があった。
・クレヨンでは細かな表現が難しそうだった為、クラスにも色鉛筆を常設したいと思った。

令和７年度【2025年度】

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1259
施設名	立石いろは保育園
施設所在地	葛飾区立石2-31-17
法人名	社会福祉法人アストリー

１．活動のテーマ

＜テーマ＞

絵本

＜テーマの設定理由＞

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

・日常の保育で親しみやすいため「絵本」をテーマとして設定した。

・季節や発達段階に沿った「絵本」一人一冊届き、身近なテーマから日常とは違う世界まで様々な内容の内容の絵本を楽しむことで、身の回りの世界を深く味わう力や未知の物への興味関心が育まれていくと感じた為。

２．活動スケジュール

定期的活動

・毎月、一人一冊絵本が届く。

・数日に一回届いた絵本を全体で読み興味関心を広げる。

・誕生日にはその子の絵本で読み聞かせをする。

・子どもの関心や興味の声を拾い保育活動を展開していく（※不定期）

３．活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）
・ハサミ　・絵本「へーん！しーん！」
・のり
・クレヨン　・〇、△、細長く切った画用紙
・目の部分はくり抜いた〇の画用紙

4．探究活動の実践
＜活動の内容＞

今月のスクワク絵本である”へーんしーん”の読み聞かせをしている中で興味関心を持つ
声が多く聞こえた為、制作を行った。

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）
今月のスクワク絵本である”へーんしーん”の読み聞かせをしている中で
「変身したい！」「作りたい」の声が聞こえてきた。

5．振り返り
＜振り返りによって得た先生の気づき＞

自分からクレヨンで進めて描くこと、形を選び想い想いに糊付けていく姿がクラス全体から見られ
やって良かったと思えた活動だった。
一人一人の変身お面を発表してもらうような時間を設けるとより良かった。

令和７年度【2025年度】

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1259
施設名	立石いろは保育園
施設所在地	葛飾区立石2-31-17
法人名	社会福祉法人アストリー

１．活動のテーマ

＜テーマ＞

絵本

＜テーマの設定理由＞

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

・日常の保育で親しみやすいため「絵本」をテーマとして設定した。

・季節や発達段階に沿った「絵本」一人一冊届き、身近なテーマから日常とは違う世界まで様々な内容の内容の絵本を楽しむことで、身の回りの世界を深く味わう力や未知の物への興味関心が育まれていくと感じた為。

２．活動スケジュール

定期的活動

・毎月、一人一冊絵本が届く。

・数日に一回届いた絵本を全体で読み興味関心を広げる。

・誕生日にはその子の絵本で読み聞かせをする。

・子どもの関心や興味の声を拾い保育活動を展開していく（※不定期）

３．活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

・ハサミ	・トイレットペーパーの芯
・のり	・絵本「つくってあそぼう　つりぼり」
・クレヨン	・毛糸
・色鉛筆	・紙コップ

4．探究活動の実践

＜活動の内容＞

すくわく絵本の題名である「釣り堀」がテーマの制作活動

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

・数名がすくわく絵本を読み込み工作を始めた。トイレットペーパー芯を主に使う内容のもので、芯集めの段階から楽しんでいた。芯をつぶす、切り取り線を書く、切るといった読めば自分でできることばかりが書いてあるため「誰にも頼らず自分でやる！」ことが楽しさのきっかけになった。生き物の口に引っ掛かりそうな形状の釣り針を研究して形に起こす児がいた。

・他クラスに「だいちぐみ釣り堀オープン。遊びに来てね。１回100円」などと書いた招待状やおこづかい（おままごとのお金）を渡して全体で遊んべるように工夫した。

5．振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

・望遠鏡や万華鏡、生き物の口に引っ掛かりそうな形状の釣り針を研究して形に起こす児がいた。
絵本をきっかけに、その観察眼やアイディアには保育者も感心してしまうほどだった。